

## 東北大学良陵同窓会

平成二十六年 関東連合会春季総会

開催の経過報告

東北大学総長 里見 進先生が特別講演

平成二十六年関東良陵同窓会（正式には、東北大学良陵同窓会関東連合会）は、平成二十六年六月十四日（土）東京・市ヶ谷アルカディアで開催された。

当日は、関東甲信越静岡から、三十五名の良陵同窓生が集合し、懐かしい顔ぶれが揃った。

今回は、ご講演をお願いした東北大学総長里見 進先生（昭和四十九年卒）の特別のご出席もあり、会もひとさわ盛り上がり、お互いに旧交を温めあい和やかな雰囲気であった。

総会は、午後四時三十分から開会の辞に始まり、次いで通常の総会にうつり、押田茂實会長が次のように挨拶した。

「押田体制二年目になり、若い会員の確保が大きな目標となっております。そこで卒業後十年以内の関東在住と思われる良陵会会員に『若い良陵の会』のご連絡を差し上げましたが、多くの返事は頂けませんでした。特に若い会員の参加を増やすことを課題として、今後とも対応したいと思えます」

次いで岩瀬幹事長より新体制での二年目の経過報告と

共に、根本常任幹事より、庶務編集担当報告、田中常任幹事より女医部会報告があった。

さらに坂間会計担当幹事が会計報告、新田監事より、会計監査報告があり、会計報告と予算案が承認された。

午後五時からは、里見 進東北大学総長の特別講演、「東北復興・日本新生の先導」ならびに「ワールドクラスへの飛躍」と題した講演（詳しくは、次頁参照）が行われた。

講演の主旨は、「研究第一」、「門戸開放」、そして「実学の尊重」等、建学の理念尊重と共に、被害を受けた東北の復興、日本再生等がテーマであった。

さらに東北大学からはいくつかの分野において、世界トップクラスの研究成果が出ているが、すべての分野を総合すると、まだハーバード・スタンフォード、ケンブリッジほど世界的ではないので、ワールドクラスへの飛躍を目標にして、この二年間取り組んでいくことを強調された。

次いで午後六時から、場所を移り懇親会に移行、会員の現況報告等があり、さらにアフターディナーコンサートとしてヴァイオリン加藤幸子さん（歌手加藤登紀子さん実姉）、ピアノ、ブートワ、ラーダさんによるパガニーニ、ラフマニノフ、ベートーベン等の名曲の数々が演奏されて、一同、聴き惚れた。

最後に、飯野副会長が来年度に向けて、ますます会の発展を図りたいと決意を述べて閉会した。

東北大学関東良陵同窓会

会長 押田茂實（文責）

# 東北大学総長 里見 進先生の講演内容

「東北復興・日本新生の先導」

「ワールドクラスへの飛躍」を目指して

関東良陵同窓会

会長 押田茂實

平成二十六年六月十四日(土)

東北大学総長、里見進先生は、関東良陵同窓会総会に出席して、首題の講演を行いました。

左記が講演の主な内容です。

「二年前の総長就任時に、建学の精神、「研究第一」「門戸開放」「実学優先」を尊重し

写真左は、講演者、里見進先生  
(東北大学総長 昭和49卒)



つつ六年間の任期中の目標を表題の二つを掲げました。

その第一は、『東北復興・日本新生の先導』であり、第二は東北大学の『ワールドクラスへの飛躍』であります。

東日本大震災直後に、病院長として、率先して被災地の医療応援をしてまいりました。その時の経験を生かして、

その後、東北メディカル・メガバンク機構を立ち上げました。とにかくこの度の大地震では、大学の建物、設備、また研究成果を失うなど総合大学としては、大変な被害を受けました。

そこで総長として、「東北大学災害復興新生研究機構」を立ち上げ、災害科学国際研究推進プロジェクトや、情報通

信再構築・復興産学連携機構プロジェクトなどに加えて、教職員が、それぞれの分野を活かして取り組む、復興アクション100(総長裁量経費による支援が、平成二十四年度・十四件、平成二十五年度・十件)が進行中です。

もう一つの大きなテーマ『ワールドクラスへの飛躍』では、知のフォーラム、知の国際共同体、モチベーション向上創生拠点コンセプト、官民イノベーションプログラムなどを紹介いたします。

更に、青葉山新キャンパス整備事業として、青葉山新キャンパス位置図を提示いたします。

医学関係ではハイブリット手術室や、先端医療トレーニングセンターを紹介します。

母校・東北大学のインフラ復興等さまざまな研究施設の整備、学生・教職員の教育育成等の著しい施設の増強をしております

ご講演を通じて東北大震災

の爪痕から立ち上がる里見総長の姿に聴衆一同、感動いたしました。

最後に良陵同窓会の飯野よし子教授(自治医大耳鼻科)の謝辞があり、盛り上がりました。(文責 押田茂實)

## 里見 進先生 略歴

昭和49 東北大学医学部

医学科卒業

同59 ハーバート大学研究員

同63 東北大学医学部

第二外科講師

平成7 同医学部第二外科教授

同16 東北大学病院長

同17 東北大学副学長などを

経て、現在、東北大学

総長、国立大学協会副

会長

役員、学会・日本外科学会監事

(前理事長)、日本移植学会(評議員)、

日本静脈経腸栄養学会(理事)、日

本臓器保存生物医学会(理事)、日

本内視鏡外科学会(評議員)、日本

乳癌学会(評議員)、日本外科感染

症学会(理事)、日本食道学会(評

議員)、日本臨床移植学会(常任

幹事) NCD代表理事、国際移会、

IASGO(国際消化器外科会員)

専門分野は、外科学一般、移植

外科、肝臓外科



写真上 平成26年6月14日  
 (土) 関東良陵同窓会にご出席  
 先生方の集合記念写真  
 最前列右から五人目、東北大学  
 総長里見進先生。左隣は、関東  
 良陵会長押田茂實先生

## アフターディナー・コンサート感想♪

ヴァイオリニストの加藤幸子さんは(歌手加藤登紀子さんの実姉)国立音大のヴァイオリン科の出身で、大阪フィルハーモニー交響楽団の団員をつとめたプロであり、ピアニストのブートワラーダさんは、ロシアのレニングラードコンセルバトワール卒業で、お二人は息の合った見事なコンビネーションの演奏を披露してくれました。

演奏の特徴としては、正確で曲の雰囲気をよく表現していました。プログラムも女流演奏家らしい選択でしたが、特にマズネーの「タイスの瞑想曲」は、きめの細かい演奏で幻想的な感じが良く出ていました。またラフマニノフの「ポーカリー」は、その名のようにヴァイオリンが歌うような名演でした。

ホルムベスタクの「望郷のバラード」は、作曲が故郷を偲ぶ曲ですが、ジプシー風の悲しみのただよう哀愁に満ちた感動的な演奏でした。ベートーベンの「ロマンズ・ヘ長調」は、明るく甘美な旋律が良く表現されていました。アンコールでは、仙台にちなんで「荒城の月」が演奏されて、満場の拍手を浴びて終了しました。

(常任幹事 根本 宏)

「関東良陵だより」ならびに「関東良陵同窓会HP」への情報提供のお願い

本紙、関東良陵だよりは、これまでで会員の皆さまにさまざまな情報を提供して参りました。今後、会員の諸先生のお役に立つ情報を提供致したく、教授就任、叙勲、新規開業、就職希望、その他の情報を募集しております。宛先は、東北大学良陵同窓会 関東支部(四頁参照)まで、情報をお寄せください。

関東良陵同窓会 幹事長 岩瀬 光

# 第十六回

## 女医部会開催

清沢源弘先生の

「眼瞼診断とその治療」等内容充実の講演行われる

第十六回 良陵女医部会は、

七月二十六日(土)、私学会館アルカディアに於いて開催されました。

猛暑が続き、土曜日のお忙しい中、二十一名の先生方にご出席いただきました。

今回は、昭和五十三年卒の清澤源弘先生による「眼瞼痙攣、海外治療事情など」と題するご講演があり、参考となるご意見を多々うけたまわりました。

眼瞼痙攣に出会ったら、眼精疲労によるものと簡単に考えずに薬剤中毒かもしれないと考えるべきかもしれません。

以下は、清沢源弘先生から頂いた、当日のご講演内容の詳細でございます。(田中佐喜子)

### 眼瞼の診断と治療

清澤眼科医院 清沢源弘

眼瞼痙攣は自分の意思に関わりなく目が閉じてしまつて開き続けることができない、という奇妙な疾患で、神経学的には錐体外路系のジストニアと呼ばれる疾患の含まれています。

臨床的には、間欠的な瞬目を訴える軽い眼瞼痙攣患者から、眼痛で日常生活が不能な重症者までに亘ります。

初期症状は、瞬目頻度増加(77%)、眼瞼縮小(66%)

眼刺激感(55%)、顔面下部痙攣(59%)を含んでいます。

診断に先行する徴候には流涙、眼刺激感、差明及び弱い視覚的苦痛を含みます。

これらの苦情は、通常の眼科診療に於いても、一般的なので、適切な疑いを持つことは、早期発見に有用です。

患者は、テレビ鑑賞、読書、運動、歩行を順に断念することになります。さらに不安を増し、

社会接触を回避し、元気喪失、失職、さらには自殺願望にまで至ることもあります。

一般人口中の眼瞼痙攣の頻度

は、十万人に五人、その女：男は、1対1・81で、発症の平均年齢は五十六歳、患者の三分の二は、六十歳以上です。

正常な瞬目時には、閉眼筋(眼輪筋、皺眉筋、鼻根筋)と、開眼筋(上眼瞼筋および前頭筋肉)の二筋群はお互いに抑制し、

開眼筋群と閉眼筋群は個別に作用するので、ジストニアでは、それが同時に作用して、健全な瞬目ができないのです。

完全な治療法はないですがポツリヌス神経毒素の眼輪筋への注入が症状の減弱に利用可能で最も有効な治療法です。

経口薬と手術も取りうる選択肢です。

さらに補助的に瞼の衛生処置と涙小点閉塞処置、それにクラッチ眼鏡で支えることもあります。

最近、私たちが発表したのが、ベンゾジアゼピン系(リポトリール等)や、チエノジアゼピン系(エチゾラム等)薬の長期投与中に眼瞼痙攣を発症する薬剤性眼瞼痙攣です。臨床症状は、

原発性眼瞼痙攣に類似していますが、原因薬の中止で眼瞼痙攣

の症状改善がみられることがあります。

私たちは、FDG-PEETを用いて脳の安静時糖代謝を測定し、患者群の糖代謝を健常群と比較し、患者の脳の異常を見出しました。

ベンゾジアゼピン系薬は、抗不安薬、催眠導入剤、などとして使用されているのですが、脳内の中枢性ベンゾジアゼピン受容体に結合し、神経細胞の興奮を抑制するので、睡眠薬の使用にあたっては、この知られざる副作用にもご注意ください。

(昭五十三年卒)

＊本年度(平成二十六年)の年会費三千円を同封の振込用紙により、ご納入をお願い致します。すでに納入済みの方は二重払いにご注意下さい。

東北大学良陵同窓会  
関東連合会東京支部  
〒247-0072  
神奈川県鎌倉市岡本  
二二一—一七〇四  
TEL & FAX  
〇四六七(四五)〇二八七